

Garage Party at Machikaneyama

我々の研究室は、初代教授の櫻井良文先生が1965年4月に基礎工学部に着任した時点が開闢と言えます。当初の研究分野は磁気工学を主とし、コアメモリ素子、原子炉計測装置を対象としていました。第2代教授の井口征士先生は櫻井研究室助教授として、現在の研究分野につながる光情報処理、タブレット型入力装置、文字認識、物体認識等のパターン情報の計測処理の研究グループを立ち上げられました。第3代教授の私こと佐藤宏介は、櫻井教授の在職最終年度に研究室配属され、井口助教授の指導により、ビデオ入力方式によるタブレット装置、リアルタイム画像処理装置の卒業研究を行いました。その後、井口先生が1983年に教授昇任され、佐藤は博士課程1年次が終了後の1986年4月に井口研究室助手に採用されることとなりました。奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科助教授として修行した1994年からの5年間を除き、継続して井口研究室で教育研究に従事していました。2003年、井口先生のご退職を受け、教授職に就き、現在に至っています。現在の研究室はこの2013年に10周年を無事迎えることができましたが、これまで三人の教授がバトンをリレーしてきた、この50年弱の歴史の流れの中に我々があってこそと思っています。2012年6月に永眠されました櫻井良文先生、宝塚大学で教鞭を執られている井口征士先生、加えて櫻井研究室、井口研究室の教職員の皆様、そして先輩卒業生諸氏のご支援の賜として、今に至ることができました。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。

研究室のホームページを開設以来、一つのメッセージをトップページに掲げています。「実世界の問題を解いてこそ、エンジニア。信頼ある電子計測器メーカーとしてではなく、現在はグローバルなIT企業として顧客を満足させているHP社を創業したDavid Packardは、会長になった時にもパスポートの職業欄にエンジニアと記し続けたそうです。シリコンバレー発祥の地としてカリフォルニア州の史跡にもなっている場所は、スタンフォード大学で知りあったWilliam HewletteとDavid Packardが、音波測定用の発振器200Aを生み出した小さなガレージなのです。世の中で必要とされるのは能力があるだけの人ではなく役に立つ人なのです。」と。HewletteとPackardを結びつけたガレージを、大阪大学基礎工学部で知り合った若き学生達が待兼山の一つの小部屋で再現し続けてくれています。この研究室10周年記念パーティーはそのガレージパーティーであり、ハンダごととラジオペンチはしばし置き、お酒を片手に盛り上がりましょう。

2013.10.12 佐藤宏介



2013年度研究室夏旅行にて（福井県小浜市）